（別添資料１）

事業所名	放課後等デイサービスさぼてん	**支援プログラム**	作成日	2025 年	1 月	15 日

法人（事業所）理念		障がいのある人もない人もお互いに尊重し、理解し合いながら、地域の中で安心してふつうに暮らせる社会、そのようなノーマライゼーションの理念が浸透した「地域生活」を望む声は昨今一段と高まっています。国や県、市町村では、障害者総合支援法に基づく様々な制度や支援体制として、障がいのある人たちの「地域生活」を支える、“所得の保障”“医療の保障”“就労および日中活動の場の保障”“文化・娯楽の保障”“権利擁護”“日常生活の援助”などが整備されているところです。 それぞれに課題は多いと言えますが、誰もが住みよい温かさのある「地域生活」が送れるようにするためには、私たち地域住民が主体となって自らの課題として取り組むことも併せて重要だと考えます。このため、特定非営利活動法人さぼてんは、地域住民と共に誰もが安心してふつうに暮らしていける街づくりをめざして、とりわけ“日常生活の援助”に焦点を当てた取り組みを推進していきます。 そこで、障がいのある人たちや家族の方はもちろんのこと、地域住民を主体とした地域社会に貢献する活動として発展させて安定的・継続的に展開していくために、法人格をもった組織である特定非営利活動法人さぼてんを立ち上げました。
支援方針		1. 利用者の人格を尊重し、一人ひとりの個性や適性に応じたサービスの提供に努めます。 2. 利用者のニーズを把握し、これを十分に反映した運営に努めるとともに必要な情報提供を行うなど、透明性の確保を図り、説明責任を果たします。 3. 必要に応じて保護者に相談・助言を行い、ご家族の手助けができるよう心がけます。 4. 保護者や学校関係、他の関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域づくりの実現を目指します。
営業時間		10 時 0 分から 18 時 30 分まで　　送迎実施の有無：あり
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	①健康管理：通所時の体温計測や顔色、表情等の様子や生活リズムが安定しているか等の健康状態を把握します。 ②生活リズムや生活習慣の形成：必要に応じて定時での排泄誘導、水分摂取の確認します。 ③基本的生活スキルの獲得：ＡＤＬや身辺整理などの指導を実際の場面で実施。特性に配慮した視覚支援や環境の構造化をします。
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上：視覚、聴覚、触覚、固有感覚や前庭感覚などの感覚を統合することで、周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるように支援します。例えば、いろいろな身体の動かし方を経験し、ボディイメージを高めます。視覚的にとらえた対象物を見ながら、自分との距離感を測り、空間を認知する力や力加減を調節する力を培います。 ②アプローチの方法：走る、投げる、飛ぶ、バランスをとったり、パラバルーンやネットをくぐるなどの日常にはない動きも沢山取り入れています。経験を何度も積み上げる事で運動・感覚機能の向上を図ると共に、（できた）という達成感を体験し自信をどんどん高めて欲しいと考えています。体を動かす事に自分から積極的に興味をもって取り組むことで更に、やりがいや、自信、運動・感覚機能の向上が期待できます。本人の得意・不得意や特性に合わせて補助具や、教具の大きさの調整等をする事で、本人が力を発揮出るように配慮をし子ども達が活動に参加しやすい環境を整えています。 ③主な取り組み内容：サーキット・卓球バレー・ホッケー・サッカー・ランニング・ダンスなど
	認知・行動	①認知の発達と行動の習得：兼ね備えている５感を活用し、周囲の状況に応じた情報収集能力と情報処理能力を高める必要があります。視覚的な環境を構造化することで、周囲の状況を把握し、自分に求められている課題を理解して行動する力を培います。同時に、教材や教具(道具)の正しい使い方を指導します。 ②アプローチの方法：写真カードや手順書や見本を参考にして、ペンや折り紙などの文具や調理器具などの正しい使い方を知り、工作や調理活動に取り組みます。成功経験や達成感、周囲の評価等を通して、自己肯定感を高めます。また、写真カードや手順書等で、スケジュールや活動の手順を視覚的に示すことで、見通しをもって主体的に取り組む力を培います。そのことで、活動の達成感や、周囲との楽しいやり取りをたっぷり味わい、もっとしてみたいという期待感を膨らませて、活動に対する積極的な気持ちを育みます。 ③主な取り組み内容：工作(壁面づくり、おもちゃ作り)、調理活動(おやつ作り)、見る・聞く・話す（絵本の読み聞かせ）など
	言語 コミュニケーション	①言語(非言語を含む)の形成及び、受容と表出能力の向上：人との関係構築のためのコミュニケーションスキルの獲得を目指します。言語やそれ以外の方法として、手振り身振り、具体物や半具体物(写真カードなど)等、様々なツールを活用します。人とのコミュニケーションを通して相手の意図を理解すると共に、“自分の思いが伝わった”“嬉しい”という経験の積み重ねが、“もっと人とやりとりしたい”という気持ちの高まりにつながり、コミュニケーション能力をさらに向上させることになると考えています。 ②アプローチの方法：見る・聞く・話すでは、お話を集中して聞くという“受けとる力”とともに、話すという‘表現する力‘を培うことも大切にしています。また、その他の設定活動や、自由遊びで人とやりとりする場面、帰りの会で内容を振り返って自分の思いを発表する場面など、様々な機会を大切にしたいと考えています。例えば、自立課題では、楽しくトランプなどのゲームをして友だちとのコミュニケーションを楽しんだり、自由遊びで友だちに遊具を交代して欲しい時は、「かわって」と簡単な言葉で伝えたり、活動に友だちを誘いたい時は、「いっしょにしよう」と声をかけたりなどの様々な場面を通して、言葉(非言語を含む)を介したコミュニケーションの大切さに気づいて欲しいと思います。 ③主な取り組み内容：見る・聞く・話す（絵本の読み聞かせ）・ＳＳＴ・買い物など

	人間関係 社会性	①他者とかかわる力(人間関係・社会性)の形成：集団で遊ぶ楽しさを感じると共に、友だちとのかかわりを通して、人との信頼関係の構築を目指します。自分に対する他者からの働きかけや評価は、自分の行動を振り返る機会にもなります。自分の思いと他者の思いが同じなのか、違うのかに気づくことは、メタ認知(自己客観視)の獲得につながります。たとえ自分の思いと違っても、今の状況を受け入れることは、「本当は〇〇したいのだけれど、今は△△という状況なのできない」という気持ちの切り替えの力を培うことになります。そのような力の獲得は他者と関わる力をさらに形成し、結果的に自分への信頼感の高まりにつながると考えています(自己肯定感の育成)。また、社会性の形成については、様々な活動を通して、ルールの理解や公共の場でのマナーの習得、適切な振る舞いを学べるように支援します。 ②アプローチの方法：サッカーやポートボールなど集団遊びをする中で、パスの出し方やパスを出した時に相手はどう思うのかなどを伝える事で、相手を意識する場面を作り人間関係の広がりを目指しています。また、音楽リズムのダンスでは、支援者に注目して振り付け覚える場面を通して模倣する力を高めることで、他者の行動を意識して模倣する力の獲得に繋げます。さらには、外出体験を含めた、事業所内外の様々な活動に楽しく参加することで、集団行動のルールやマナーを守る大切さに気付くことも社会性の形成に繋がると考えています。 ③主な取り組み内容：サッカー・野球・グラウンドゴルフ・パスポートボール・音楽リズム・ＳＳＴ、外出活動(お買い物、公共交通機関の利用、イベント参加、遊戯施設など)
家族支援		・連絡ノートや電話等で児童の様子や支援での取り組みや様子を日常的に報告しています。 ・児童の様子について気になる事等があった場合、保護者へ聞き取りや情報共有を行います。 ・保護者やご家族間でのお困りごと等を共有し支援内容を検討します。 ・個々の発達の状態や得意不得意、また障がい特性等に応じての支援方針を保護者と丁寧に共有していきます。
地域支援・地域支援		・地域の人たちとコミュニケーションを円滑にとることの楽しさや、意思を伝える方法を身につけて成功体験を積み上げていきます。 ・必要に応じて学校や市、他事業所等と関係者会議を行い児童の様子や支援の方向性について共有します。 ・生活環境が変わる移行時には必要に応じ引き継げや情報共有を行うための関係者会議を行います。
職員の質の向上		・毎日ミーティングを行い、その日の支援内容の具体的意図や目的を職員間でしっかり共有します。 ・内部研修や外部研修を積極的に行い、資格や知識の向上に取り組んでいます。 ・経験豊富な理学療法士を招いたコンサルテーションを定期的に行っています。
主な行事等		・外出活動（工場見学、ブルーメの丘、黒滝、ヤンマーミュージアム等）、夏祭り、クリスマス会、太鼓活動発表会　等